

Lions

年報 No.4
1993.6



蒲郡マリンライオンズクラブ

目次

ライオンズの誓い、スローガン	1
役員、委員会組織	2
役員一年間の回顧	4
次期役員 of 抱負	7
アクティビティ一覧	9
特別活動報告	10
例会活動報告	18
趣味部会活動報告	30
特別寄稿	32
新入会員紹介	33
事務局日誌	40
会員年間出席表	46
退会会員一覧、表紙写真の言葉	52



GAMAGORI MARINE

LIONS CLUB



スローガン・モットー・誓い

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nations Safety

(自由を守り、知性を重んじ、我々の国の安全をはかる)

モットー

We Serve

(われわれは奉仕する)

1992～1993年度 スローガン

国際会長

We Serve (われわれは奉仕する)

334 複合地区

世界に向かって ウィ・サーブ

334-A 地区

思いやり心豊かに ウィ・サーブ

蒲郡マリンライオンズクラブ

愛の心で 地域へ奉仕

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と寛容の精神を養い

平和と自由を守り、社会奉仕に精進する



役員・委員会組織

<役員組織>

会 長	市 川 直	二年理事	小 田 幸 重
前 会 長	森 桂 吾	"	大 原 義 政
第 1 副 会 長	市 川 伊 嗣	"	竹 尾 喜 一郎
第 2 副 会 長	小 島 利 夫	"	夏 目 光 規
第 3 副 会 長	大 場 貴 之	"	夏 目 憲 行
幹 事	大 岩 政 寛	一年理事	河 井 勤 一
会 計	嶋 田 栄 治	"	鈴 木 俊 一
ライオンテーマ	山 口 正	"	永 田 武 満
テーブルツイスター	山 本 四 十 三	"	本 多 初 雄
会 員 理 事	鈴 木 靖 夫		
副 幹 事		大 岩 敏 郎	
副 会 計		三 浦 雅 敏	
副 ライオンテーマ		鈴 木 光 喜	
副 テーブルツイスター		鈴 木 利 夫	
会 計 監 査 委 員		(正) 近 藤 宏	
"		(副) 滝 沢 巖	
2R環境保全公衆安全委員		榎 本 尚 史	

<委員会組織>

運 営 委 員 会 (◎委員長 ○副委員長)

第一副会長 市川 伊嗣

会員委員会

◎鈴木 靖夫 ○鈴木 殖夫 深津 六郎 大浦 武夫 山本 孝

PR委員会

◎大原 義政 ○鈴木 孟 ○鈴木 良朗 稲葉 紀勝 大岩 政寛 岡田 光男
竹内 功 夏目 勝美 林 之洋 伴 正敏 本多 初雄 松井 慶彦
山本四十三 尾崎 勝美 家治川 修 小田 倉平

指導力育成委員会

◎野田 孝道 ○小田 多良 井沢 敏雄 大場 諭暉宏 鈴木 敏允 高須 惣士
富田 武彦 牧原 清二 森 桂吾

第二副会長

情報委員会

◎永田 武満 ○中瀬 充二 味岡 正 石川 杉夫 市川 詔一 市川 弘
杉山 八郎 吉見 準司 竹内 康彦

財務委員会

◎近藤 洸光 ○野口 長務 水藤 勇 滝沢 巖 平野 小弥太 三浦 雅敏
竹田 等

出席委員会

◎高橋 二郎 ○長田 東一 市川 寛 小田 昭二 河井 勤 坂崎 太豆夫
鈴木 義寛 鈴木 正己 吉見 重夫



役員・委員会組織

第三副会長 **大場 貴之**

計画委員会

◎竹尾喜一郎	○市川 貞夫	○尾崎 保久	石田 敬二	小田 二郎	大竹 敏
金森 尚弘	近藤 宏	鈴木 光喜	鈴木 俊一	鈴木 勝広	鈴木 利夫
竹内 健	鳥居 憲臣	夏目 憲行	伴 捷文	平野 優	牧野 孝彦
山田 金弥	伴 伸司	松井 一由	関原 健一	洞田 行夫	松井 一夫

姉妹提携委員会

◎鈴木 靖夫 計画委員会のメンバーが兼務

大会委員会

◎夏目 光規	○鈴木 修身	加藤 寿則	石川 逸男	小田 昭男	小田 幸重
鋤柄 渡	鈴木東太郎	竹内 良一	水野 雄二	吉見 敏春	

会則・付則委員会

◎木村 利男	○福沢 君夫	榎本 尚史	徳永 由也	藤原 一郎	山口 正
--------	--------	-------	-------	-------	------

事業委員会 (◎委員長 ○副委員長)

第一副会長 **市川 伊嗣**

三献推進委員会

◎小田 幸重	○岡田 光男	○木村 利男	井沢 敏雄	稲葉 紀勝	長田 東一
鈴木 敏允	鈴木 修身	鈴木 良朗	永田 武満	夏目 勝美	松井 慶彦
山口 正	竹田 等	洞田 行夫	松井 一夫		

市民・教育奉仕委員会

◎本多 初雄	○鈴木 正己	味岡 正	小田 昭二	大原 義政	金森 尚弘
近藤 宏	水藤 勇	鋤柄 渡	鈴木 殖夫	鈴木 勝広	滝沢 巖
中瀬 充二	野口 長務	深津 六郎	福沢 君夫	森 桂吾	家治川 修
小田 倉平					

第二副会長 **小島 利夫**

公衆安全環境保全委員会

◎吉見 敏春	○伴 捷文	石川 杉夫	市川 貞夫	市川 寛	榎本 尚史
小田 昭男	大浦 武夫	杉山 八郎	鈴木 靖夫	鈴木 義寛	鈴木 利夫
高橋 二郎	野田 孝道	藤原 一郎	吉見 準司		

社会福祉委員会

◎鈴木 俊一	○加藤 寿則	市川 弘	小田 多良	小田 二郎	大竹 敏
坂崎太豆夫	鈴木 孟	竹内 健	竹内 功	徳永 由也	夏目 光規
牧原 清二	松井 一由	尾崎 勝美	関原 健一		

第三副会長 **大場 貴之**

YE・LCIF委員会

◎夏目 憲行	○牧野 孝彦	尾崎 保久	大岩 敏郎	近藤 洸光	鈴木東太郎
鈴木 光喜	竹尾喜一郎	鳥居 憲臣	伴 正敏	平野 優	水野 雄二
吉見 重夫	山田 金弥	山本四十三	伴 伸司	竹内 康彦	

薬害糖尿病委員会

◎河井 勤	○林 之洋	石川 逸雄	石田 敬二	市川 詔一	大場喻暉宏
高須 惣士	竹内 良一	富田 武彦	平野小弥太	三浦 雅敏	山本 孝
竹田 等					

特別委員

水藤 勇	高橋 二郎	小田 多良	深津 六郎	鈴木 殖夫	鈴木 靖夫
鈴木 敏允	森 桂吾				



役員一年間の回顧



皆様のご協力のおかげで
多くの成果を

会 長
L 市川 直

「月日は百代の過客にして行きかふ年もまた旅人なり」と芭蕉は『奥の細道』の冒頭で述べていますが、時の流れを旅人と感じとったのでありましょう。年令を重ねるに従い、時の経過が早く感じられ、40代の人にとっての1年は20代の人倍の速さ、60代の人になると3倍の速さを感じると言われます。

会長に就任して第1回目の挨拶を考えていたのが大分以前のことと置いていたら「光陰矢の如く、歳月は人を待たず」であつという間に1年が過ぎ去りましたが、会員の皆さんとともに活躍できたことを幸せに思っています。

1年間を振り返ると、大きな行事が3つありました。1つは“つつじ寮のチャリティーバザー”、2つ目は“市民文化講演会”で平岩弓枝先生をお招きしたこと。3つ目は、飯田赤石ライオンズクラブとの“姉妹提携”であります。チャリティーバザーと姉妹提携はいずれもはじめての企画であり、社会福祉委員会、姉妹提携委員会のL各位のご尽力の賜物と深く感謝しています。

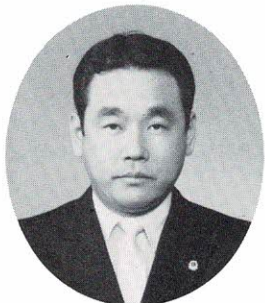
市民文化講演会は、一般市民の関心も年々高まり、「今年はだれをお招きしますか」と早くから聞かれるほどでありました。そこで市民教育奉仕委員会で話し合い、平岩弓枝先生に決定しました。私ははずかしながら、それまで先生の本を1冊も読んだことがなく、『御宿かわせみ』の作者であることを知っている程度だったので、決定直後から本屋へ行き、1冊ずつ本を買って読みました。若い頃から本は苦手で、自分で本を買うことなどめったにありませんでしたが、先生の本は面白くて、読みやすく、1週間に1冊のペースで読んでいきました。次はどの本にしようかと本を選ぶ楽しさも生まれて初めて味わいました。『女の四季』が書店で見つからず、市立図書館で借りたこともあり読んだ本は13冊になりました。ところで、作家である先生の講演は分りやすく感動したということも多くの人から聞き、本当に良い先生をお招きできてよかったと思っています。

昨年の12月に入り飯田赤石ライオンズクラブより姉妹提携の話がもち上がりました。当クラブとしても、渡りに舟と大賛成しすぐに姉妹提携委員会を編成し、両クラブの積極的な話し合いの結果、平成5年3月24日、飯田市において姉妹提携調印式を行ないました。蒲郡マリライオンズクラブにとって、新しい歴史の1ページが開かれるのかと思うと、調印式では興奮し胸が熱くなるのを覚えました。

1年間、会員の皆さんにはご迷惑をかけましたが、皆様のご協力のおかげでいくつかの成果を収めることができ、本当にありがとうございました。



役員一年間の回顧



多方面の方々との交流が収穫

幹 事

L 大岩 政寛

幹事としての初日を迎えた昨年7月1日には、365日という長距離マラソンに初めて臨み、完走できるか否か不安ばかりが脳裏をかすめているランナーのような心境でありました。しかし、市川会長はじめ役員や会員の御指導、御協力そして鈴木事務局員の支援を戴いて「愛の心で地域へ奉仕」のスローガンのもと諸事業を遂行し、とりわけ、飯田赤石LCとの姉妹提携を最後のメイン事業として無事済ませることもできました。思い返せば多用を極めたこの1年に私生活を始め多少犠牲にせざるをえないこともありましたが、幹事として各方面の方々との交流を深めることが出来たのは、何ものにもかえがたい収穫であったと思います。また、LC会員は各企業等の代表者の集まりでありますので、どんな役職が当たろうともこなせる能力をもっている方ばかりであることを改めて実感いたしました。

非才かつ、更に不勉強の為幹事としての大役を十分果たせなかったことを、市川会長はじめ皆様に深くお詫び申し上げますとともに、次期幹事L山本四十三は、創立5周年担当に大変ふさわしい、知力・気力・体力とも充実した、英気溢れる素晴らしい素質をもった方であります。御活躍を期待申し上げ、お礼と感謝の言葉とさせていただきます。



会計として二年間を顧みて

会 計

L 嶋田 栄治

図らずも2年続投の会計を指名され、皆さんには大変ご迷惑をおかけしたことを、まずもってお詫び申し上げます。私たちのクラブも平成元年2月28日、334-A地区の99番目のクラブ結成を88名のチャーターメンバーで船出して、来年で5周年を迎えようとしております。会員も106名となりクラブ活動も益々活発になってまいりました。その間、色々なことがありました。特に私の印象に残っているのは、本年3月24日飯田赤石LCとの姉妹提携を結んだことです。赤石LCの皆さんは土地柄とは申せ、非常に熱心で交渉中の対応にも常に礼儀正しく話し合いに応じてくれ、将来手を結んでクラブ活動を展開するにはまたとない提携であったと思います。海と山のクラブとしてお互いの立地の違いを乗り越えて、それぞれの特徴を活かしアクティビティを計画し、両クラブメンバーの友情の輪を拡げてクラブの活性化を計り地域の発展に協力しなくてはならないと思います。周年記念事業には皆さんのご提案により素晴らしいアクトをお願いします。



幻に終わった 地球環境問題キャンペーン

2R環境保全公衆安全委員

L 榎本 尚史

7月第1例会で会長より2R環境保全委員の委嘱状をいただき、7月25日キャビネット第1回環境保全委員会に出席しました。柳沢ガバナーは、自然環境にやさしいアクティビティの重要性と当委員会への期待を述べられました。

池本地区委員長からは(1)マスメディアを通しての啓蒙運動(2)再生紙利用運動とを提案されました。アクトの基本は単位クラブにあります。時によっては334-A地区の総力を結集することがより効果的との見解でした。

その後、数回にわたって熱心に委員会を開き協議しましたが、残念ながら平成4年10月13日付のガバナー通達で(1)準備期間(2)費用拠出方法等の問題により、やむなく中止する旨の連絡となりました。

アクトも時代のニーズにあった対応が必要ではないでしょうか。もう1つの再生紙利用運動は、お陰で12月末現在、1,367万枚、1,700本の森林資源が保護されましたことを報告します。

1年間のみなさんのご協力、ご支援ありがとうございました。

受賞一覧

<クラブ>

- 会員増強賞 銀賞
- 社会福祉貢献賞
- 環境保全アクティビティ貢献賞

<会員>

- メルビン・ジョーンズ・フェロー
L 高橋 二郎
- モナーク・シェブロン 15年
L 鈴木 敏 允
L 市川 詔 一
L 永田 武 満
- モナーク・シェブロン 10年
L 福 沢 君 夫



次期役員の抱負



「楽しい例会」とは、
メンバーが喜んで出席してくれる例会

次期会長

L 市川 伊嗣

県下99番目のクラブとして発足以来、早や5年を迎えることになりました。歴代の会長並びにメンバー各位の努力によって、現在 106名という2Rでも有数の活力あるクラブとして発展しております。

大切な節目の年に会長としての重責を感じますが、自分に与えられたものとして感謝の気持ちで過ごしたいと思います。

「人を幸せにしてあげたい」「人の為に役立ちたい」という気持ちは誰でも感ずるように、人間の心を大変きれいにしてくれ、大変気持ちのいいことであります。また、きれいな気持ちをもたなければ、人を幸せには出来ません。このきれいな気持は会員相互のウィ・サーブから生まれるものと思います。まず会員が会員にウィ・サーブすることによって、会員相互の融和と団結が生まれ、われわれの目的である真の「ウィ・サーブ」が生まれるのではないのでしょうか。

2年前に私が幹事をお引き受けした時に「楽しい例会」をモットーにと考えました。「楽しい例会」とは「メンバーが喜んで出席してくれる」例会であり、「喜んで出席してくれる例会」とはメンバー全員の出番を出来るだけ多くつくって、会員の融和を計ることによって生まれると申しました。

会長はクラブの最高責任者であり、クラブの主役であり、各委員会、理事会、例会を総括する役目ですが、決定権はないので自分の意見を余り表面に出してはいけないと思います。主役というよりむしろ脇役で「お茶汲み」的存在でないとメンバーがついてきてくれないような気がいたします。

先年は会長の挨拶を3人の副会長が交代で毎月の第2例会を担当することになっておりましたが、諸事情により、途中で中止になりました。本年度は完全実施します。

「楽しい例会」は会長の挨拶によっても左右されますので、冒頭からシラケないように副会長共々頑張りたいと思います。

周年行事に就きましては、各部会において精力的に進められますが、立派に実現させる為には、メンバー各位のより一層の協力と努力が必要であります。

皆様のガッツを心から期待します。



次期役員の抱負



ありのままは正直の看板

次期幹事

L 山本四十三

正直なところ幹事という思いもかけない指名があり、あわててライオンズ必携を読みましたが、責任の重さに驚きライオンマンとして日も浅く、人間的にも半熟の私はその器でない、後悔さえしています。しかし、引き受けた以上、人間としてより成長するよう経験、試練の場を与えられたのだと感じ、精一杯努力するのみであると決意しました。私には会長の女房役、メンバーの世話役という大それた仕事は出来ません。また、失敗することが多くありましても「あれだけ頑張っているんだ、あれだけ神経を使っているんだから」と、メンバーの皆様に気持ちの上でも許していただけるよう自分自身を戒める覚悟であります。

“ありのままは正直の看板”という諺の如く、自分に正直であれば貴重なセッションや助力をうることもできると思ひ、自然体で汗だけは精一杯かこうと思っています。そしてまた、「私ごとき非才にも幹事は出来る」という先鞭をつけることができれば、私としては幸せであります。今後とも良き御指導、御鞭撻を心よりお願い申し上げます。



クラブの金庫番

次期会計

L 加藤 寿則

蒲郡ライオンズクラブに近藤茂氏（元会員）のスポンサーで、1982年4月入会、以来ライオン歴11年が過ぎ去りました。先日、指名委員会より会計役を命ぜられ、一度は大役ですからと固くお断りしましたが、10年過ぎて役を指名されれば受けざるをえないと思ひ、何んの勉強もしない私ですが試練のつもりでお受けいたしました。

入会当時、メンバーの方はほとんど顔見知りもなく毎日が苦痛でした。入会と同時にゴルフを始め、入部以来ゴルフ大好き人間達と知り合い、徐々に多くの方々とお話出来るようになりました。クラブの勉強よりゴルフの方に力が入り、ライオンズメンバーとしては劣等生でございます。早速ライオンズ必携を取りだし、“会計は”を読み始め、頭の中に入れるように努力しています。なにしろクラブの金庫番という大事な役であります。金銭感覚に弱い私ですが先輩方のご指導とメンバーの方々のご鞭撻を賜りながら全力を尽くすつもりでございます。

ライオンズクラブは奉仕団体で、奉仕活動での人間の交流は、平等でなければならないと思っています。メンバー一人ひとりの個性を生かしそれを活用して、地域社会に、また、恵まれない人々に奉仕して、世間に評価されるよう頑張ろうではありませんか。